第３回　西部特別支援学校　学校運営協議会　議事録

日　時	令和５年２月 14 日(火)　　13 時 30 分から 15 時まで
場　所	西部特別支援学校　会議室
出席者	木下清史様(三方原地区根洗自治会長)、山口治茂様(細江地区湖東自治会長)、安達広様(聖隷三方原病院事務局長)、川合由美様(浜松市社会福祉事業団施設長)、加藤久貴様(弁護士)、山田浩昭様(元特別支援学校長)、松本浩一様(ＰＴＡ会長) 校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、訪問主任、教務課長
内　容	次第 １　校長挨拶 ２　協議事項 ⑴ 学校評価 ①全体（学校自己評価・保護者アンケート結果） ②各学部のあらわれ ③意見聴取 ⑵　地域とのつながり、学校から
協議での意見等	１　校長挨拶 ・新型コロナウイルス感染症が少し下火になってきている。５月以降５類に伴っての感染対策等が心配。今子供たちは３学期のまとめを行っている。 ・この会で、地域との結びつきを強くしていきたい。前回たくさんの意見をいただき運営に生かしていきたい。地域に出ての学習や地域から来てもらう学習など、つなぎ役の皆さんの力を借りたい。 ・今回学校評価として、学習の成果について違う立場からの意見をもらい、来年度に生かしていく。 ２　協議事項 ⑴ 学校評価 ① 全体（学校自己評価・保護者アンケート結果） ② 各学部のあらわれ ③ 意見聴取(関係者評価) ・子供のことをしっかり見て細かくやっている。 ・地域との関わりとして、花壇で花や野菜を育てることができるのではないか。自治会でも PR していく。 ・真摯な取り組みであり、専門性を十分学べている。

	・目標と結果がリンクできると良い。目標の立て方から考えると良い。 →今年度から取り組んだことに関しては連携がうまく取れなかった部分もある。来年度に生かす。 ・アンケートをどうしていくか。D評価が気になる。 →十分な理解がされていない場合には、しっかり意図を説明するする必要がある。 ・Ｃ評価の意見をＡＢ評価にフィードバックしてあげる必要がある。 ・Ｃ評価の問題意識が大切な場合がある。ＡＢ評価の人が気付かなったことに気付いてくれている。 →各項目ＣＤ評価の意見について再検討し、職員にフェードバックしていく ・自己決定力、選択力、問題解決力など、自分なりの表現ができるようになって卒業してほしい。 ・１人１台ｉＰａｄはよい。しかし。施設にはそんなにない。みんなで順番に使っている。ｉＰａｄ以外で過ごせる力をつけてほしい。 →進路学習等も含め、また保護者とも連携し、児童生徒の余暇の過ごし方考えていきたい。 ・それぞれの先生がこの評価を見て、これからの頑張りに繋げていってほしい。 ・新型コロナウイルス感染症に関して、来年度からの授業のあり方等徐々に改善されていく。実りあるものにしてほしい。 →感染状況を踏まえ、また感染対策をしっかりしながら、地域等と関わる学習を少しずつ増やしていきたい。 ⑵　地域とのつながり、学校から ・学校で行いたいことや校外学習などで利用したいところについて、今後も情報提供をしていく。 ３　校長より たくさんのご意見参考になった。細かなところに目が行っていなかったことに気付かされた。自己評価だけでなく、学校全体としてみて評価するということも必要である。来年度に向けて整理していきたい。